

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,800,000	300,000	0	2,100,000
事務所移転引当資産	1,500,000	0	1,500,000	0
連合会総会引当資産	1,000,000	0	1,000,000	0
合計	4,300,000	300,000	2,500,000	2,100,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	2,100,000	(0)	(0)	(2,100,000)
合計	2,100,000	(0)	(0)	(2,100,000)

4. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,800,000	300,000	0	0	2,100,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記 2 に記載しているため記載を省略する。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表の注記 4 に記載しているため記載を省略する。